

# 豊後大野市国民健康保険

## 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画

### 1. 計画の概要

#### 計画の趣旨

豊後大野市は、少子高齢化が年々進行しており、国民健康保険の被保険者の半数以上が65歳から74歳の前期高齢者となっており、また、一人当たり医療費も年々増加傾向にあり、県内でも常に上位となっています。このような状況を踏まえ、レセプトや各種統計データ等を活用し、地域の課題を把握、分析し、効果的かつ効率的に保健事業を実施することで、被保険者の健康寿命の延伸を図るための計画です。

#### 計画の期間

令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間

#### 実施体制

市民生活課国保年金係及び健康推進室が主体となって運営し、他にも高齢者福祉課、社会福祉課等の市役所内の関係部局のほか、大分県豊肥保健所等、住民の健康保持に関わる部局、豊後大野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会の協力を得て進めます。

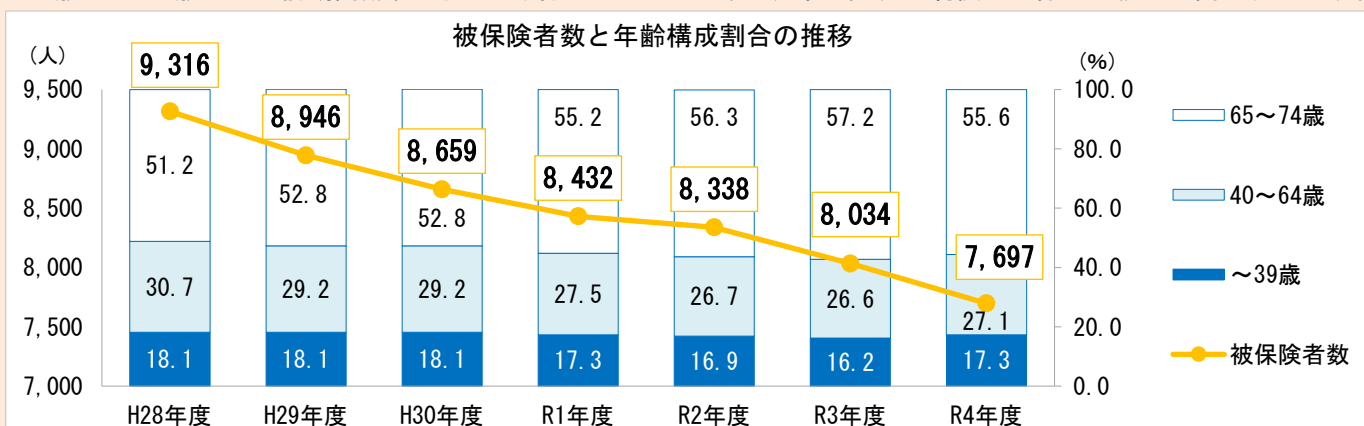
#### 評価・見直し

毎年度、個別の保健事業ごとの評価指標に基づき、事業の効果や指標の達成状況を確認します。その評価に基づき、本計画をより実効性のあるものにするため、令和8年度中に中間評価を行い、計画取組の進捗状況を確認し、必要に応じて評価指標の見直しを行います。最終年度(2029年度)には計画全体の評価を行い、次期計画の策定の参考とします。

### 2. 豊後大野市国保の現状

#### 【国保被保険者数の推移】

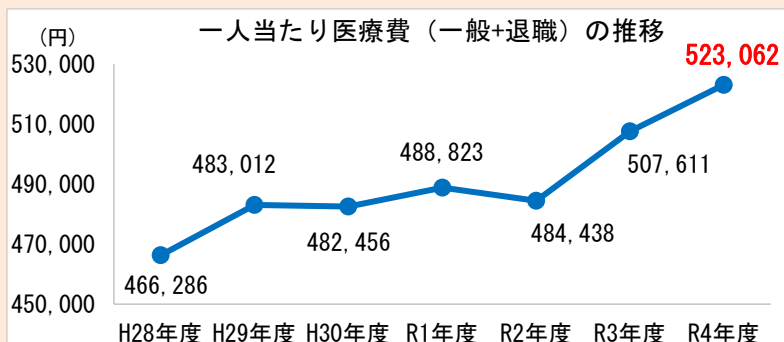
令和4年度の国保被保険者数は7,697人で、人口に占める割合は23.0%となっています。国保被保険者のうち、65歳から74歳までの前期高齢者の占める割合は55.6%であり、県や国、同規模自治体と比較して高い状況です。



資料：KDB「地域の全体像の把握」(令和4年度累計)、「健診・医療・介護データから見る地域の健康課題」(各年度累計)

#### 【医療費の状況】

国保被保険者数は減少傾向ですが、1人当たり医療費は年々増加し、令和4年度は県内で3番目に高くなっています。



資料：国民健康保険事業年報(令和4年度は速報値)

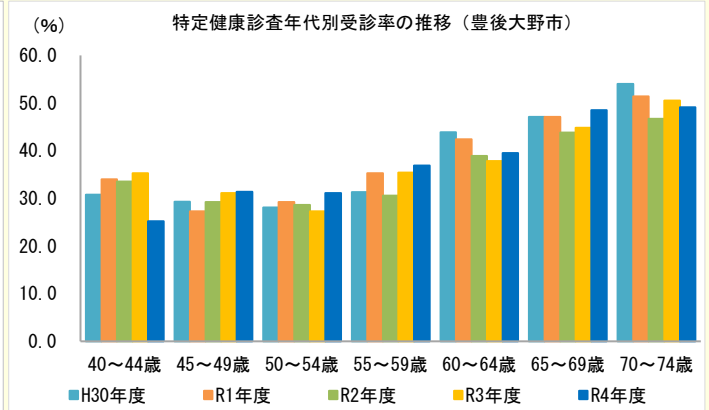
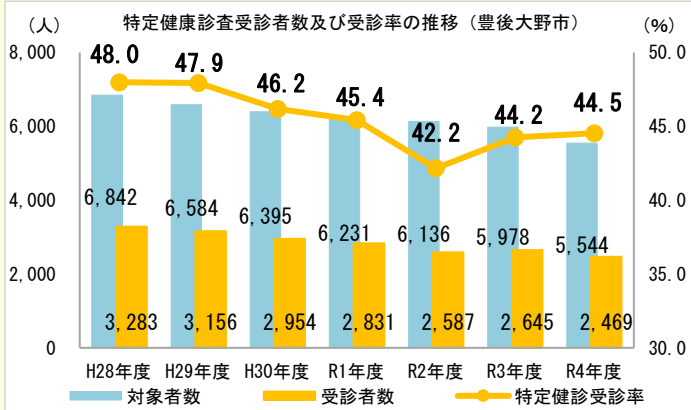
### 3. 豊後大野市の健康課題

**特定健康診査受診率が低く、50%を下回っている。60～70歳代に比べて、働き盛り世代である40～50歳代の受診率が低い。**

#### ● 受診率向上対策・受診しやすい健診の体制整備

特定健康診査未受診者に対しての受診勧奨および、節目健診（人間ドック：40歳・50歳・60歳）、基本健診（18歳～39歳の市民）の無料実施により、受診者の継続的な健診受診への意識付けを行う。

豊後大野市の平成28年度以降の特定健康診査受診率は、年々減少傾向であり、令和2年度にはコロナ禍も要因に考えられるが42.2%まで減少した。その後、令和3年度に44.2%、令和4年度に44.5%と徐々に増加してきている。



資料：特定健診・特定保健指導実施結果報告（法定報告）

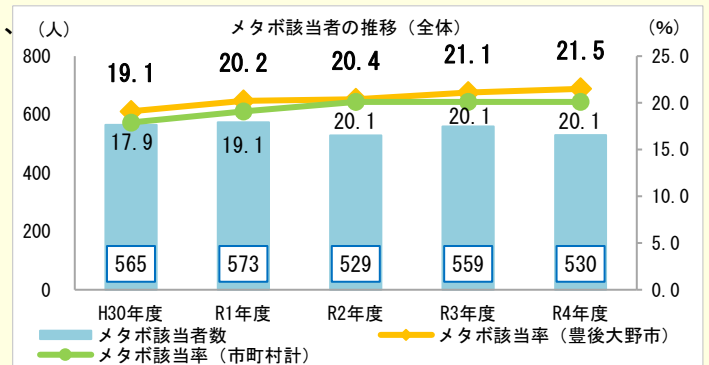
**特定健康診査の結果より、メタボリックシンドロームの該当者割合が増加傾向である。**

#### ● 特定保健指導実施率の向上と効果的な保健指導の実施

特定健康診査の結果より、対象者にメタボリックシンドロームに着目した保健指導を行い、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病予防等を図る。また、保健指導委託機関と連携をとり、健診日当日の利用開始等で実施率の向上を目指す。

メタボリックシンドロームの該当者割合の全体を見ると、市町村計よりも高い値で推移し、年々増加傾向である。

	該当者数 (人)	該当率 (%) (豊後大野市)	該当率 (%) (市町村計)	標準化比 (豊後大野市)
H30年度	565	19.1	17.9	105.5
R1年度	573	20.2	19.1	111.6
R2年度	529	20.4	20.1	112.3
R3年度	559	21.1	20.1	115.7
R4年度	530	21.5	20.1	117.5



資料：大分県福祉保健部国保医療課

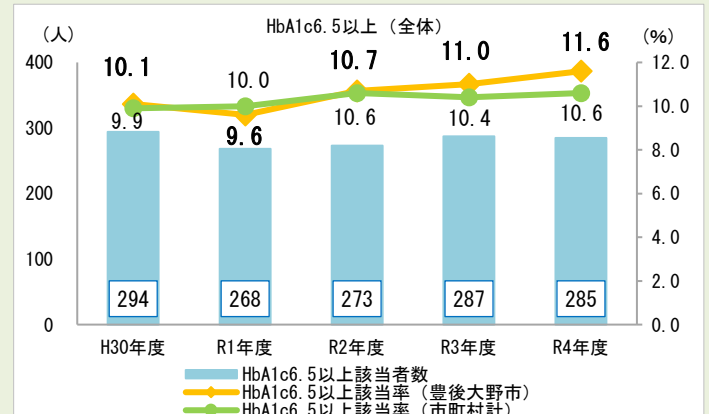
**特定健康診査の結果より、HbA1c6.5以上の受診勧奨判定値を超える者の割合が増加傾向である。**

#### ● 生活習慣病の重症化予防

特定健康診査の結果で、糖・血圧において基準該当である方に対し、個別（生活習慣改善サポート）及び集団（健康教室）での保健指導を実施する。また、必要に応じて医療機関への受診勧奨を行い、生活習慣病の重症化予防を図る。

HbA1c6.5以上該当者割合の全体の推移をみると、令和元年度以降増加しており、市町村計も上回って推移している。

	該当者数 (人)	該当率 (%) (豊後大野市)	該当率 (%) (市町村計)
H30年度	294	10.1	9.9
R1年度	268	9.6	10.0
R2年度	273	10.7	10.6
R3年度	287	11.0	10.4
R4年度	285	11.6	10.6



資料：大分県福祉保健部国保医療課

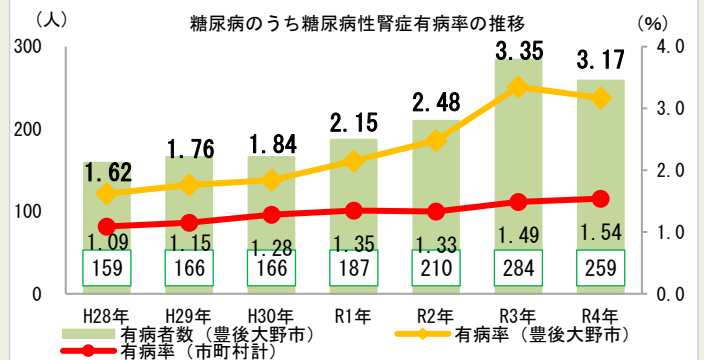
**糖尿病性腎症の有病率が増加傾向にあり、県内2位（令和4年5月診療分）と高くなっている。**

**● 生活習慣病の重症化予防（糖尿病性腎症重症化予防）**

糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析の導入を防ぐ又は導入を遅らせ、生活の質の維持・向上を図る。また、対象者へ適切な受診を勧め、生活習慣改善や服薬指導など、医療機関と連携しながら取り組む。

糖尿病のうち糖尿病性腎症の有病者数と有病率は、平成28年以降増加傾向である。市町村計の有病率より高い値を推移している。有病率の県内順位をみると、令和2年から2位が続いている。

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
有病者数（人） （豊後大野市）	159	166	166	187	210	284	259
有病率（%） （豊後大野市）	1.62	1.76	1.84	2.15	2.48	3.35	3.17
有病率（%） （市町村計）	1.09	1.15	1.28	1.35	1.33	1.49	1.54
糖尿病のうち 糖尿病性腎症 有病率県内順位	4位	3位	3位	3位	2位	2位	2位



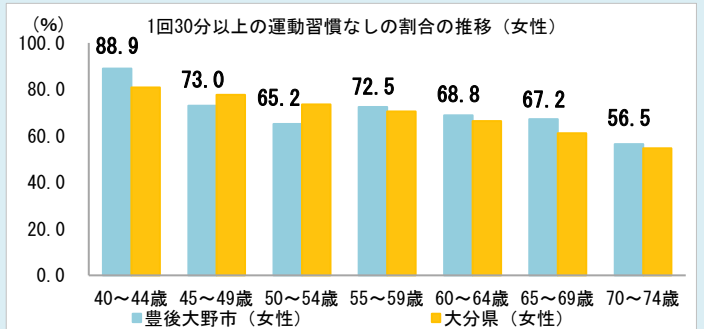
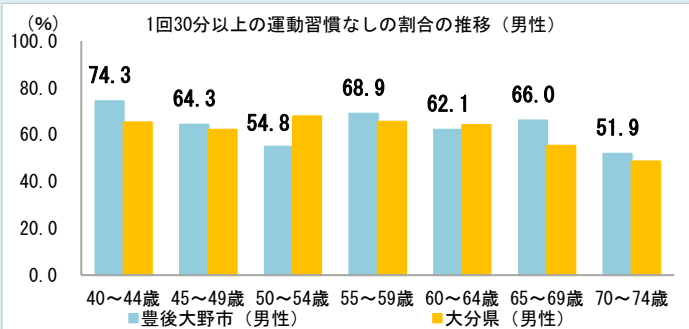
資料：「KDB」で見る大分県（各年5月診療分）

**質問票より「1回30分以上の運動習慣なし」と回答した人の割合が高い。**

**● 運動習慣の定着**

運動教室の開催や県の行う健康アプリによる情報発信や健康経営事業所事業など地域職域と連携することで運動の普及啓発を行う。また、筋骨格系（関節疾患）の発症を防ぐ対策として運動習慣の定着化を図る。

男性、女性ともに、ほとんどの年代で大分県より1回30分以上の運動習慣なしと回答した割合が高い。年代別に見ると、40～44歳の年代で運動習慣のない人の割合が高くなっている。



男性	豊後大野市（%）	大分県（%）
40～44歳	74.3	65.2
45～49歳	64.3	62.1
50～54歳	54.8	67.8
55～59歳	68.9	65.5
60～64歳	62.1	64.2
65～69歳	66.0	55.2
70～74歳	51.9	48.5

女性	豊後大野市（%）	大分県（%）
40～44歳	88.9	80.9
45～49歳	73.0	77.6
50～54歳	65.2	73.5
55～59歳	72.5	70.5
60～64歳	68.8	66.4
65～69歳	67.2	61.1
70～74歳	56.5	54.6

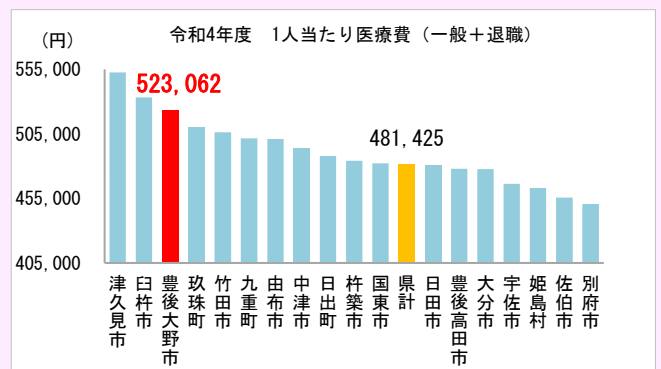
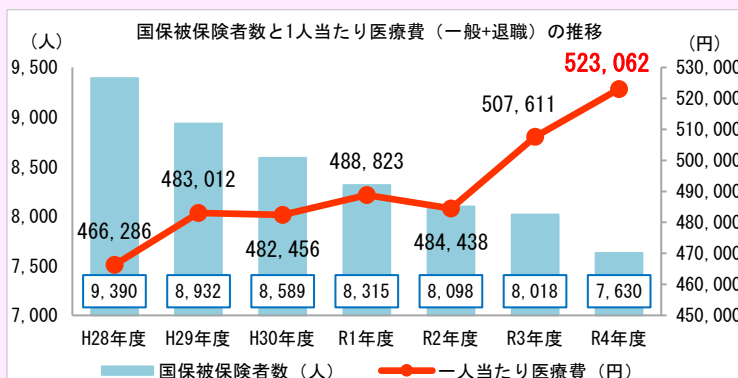
資料：KDB 質問票調査の経年比較

**1人当たり医療費が県内で上位である（県内3位：令和4年度速報値）。**

**● 適正受診・適正服薬の促進**

医療費やジェネリック医薬品の通知、重複受診、重複服薬者への通知・保健指導等の実施により、健康・医療に対する意識を高め、被保険者の医療費の自己負担軽減や保険者の医療費の抑制を図る。

豊後大野市の国保被保険者数は年々減少傾向だが、1人当たり医療費は年々増加している。令和4年度は、県内で3番目に高くなっている。



資料：国民健康保険事業年報（令和4年度は速報値）

## 4. 保健事業の全体像（実施内容・目標）

生活習慣病の発症予防及び重症化を予防し、市民の健康増進と医療費適正化をめざす

事業の4本柱	<b>①健診受診率の向上と保健指導の充実</b> ●受診率向上対策・受診しやすい健診の体制整備 ●特定保健指導実施率の向上と効果的な保健指導の実施	事業1：特定健康診査 事業2：節目健診 事業3：基本健診 事業4：特定健康診査未受診者対策 事業5：特定保健指導
	<b>②生活習慣病重症化予防の推進</b> ●生活習慣病の重症化予防	事業6：精密検査受診勧奨事業 事業7：生活習慣病予防事業（糖尿病、高血圧症） 事業8：糖尿病性腎症重症化予防事業
	<b>③健康づくりの普及推進</b> ●口腔ケアの推進 ●運動習慣の定着	事業9：生活習慣病予防のための健康教育、健康相談（歯科保健） 事業10：運動の普及啓発事業（肥満対策）
	<b>④医療費適正化の推進</b> ●適正受診・適正服薬の促進	事業11：医療費通知 事業12：後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及啓発 事業13：重複多受診・重複服薬訪問事業

計画全体の目標	評価指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
生活習慣病の発症を予防する	特定健康診査受診率	44.5%	50.5%
生活習慣病の発症を予防する	特定保健指導実施率	81.6%	現状維持
生活習慣病の発症を予防する	メタボリックシンドローム該当者割合	21.5%	20.3%
生活習慣病の重症化を予防する	生活習慣病有病率	46.4%	45.8%
生活習慣病の重症化を予防する	糖尿病有病率	15.0%	14.0%
生活習慣病の重症化を予防する	高血圧症有病率	27.6%	27.0%
生活習慣病の重症化を予防する	新規人工透析患者数	7人	R8実績より減少
医療費の適正化を図る	1人当たり医療費	523,062円	R8実績より減少

豊後大野市国民健康保険では、被保険者の健康保持増進と健康寿命の延伸、医療費の適正化をめざし、保健事業に取り組めます。